

第四十二号 二〇十八年九月十一日発行



高山留学生学生だより

かけはし

発行	公益財団法人 高山国際教育財団
住所	〒160-0022 新宿区新宿 2-9-23 SVAX 新宿ビル B 館 6 階
電話	03-3225-8058
ファックス	03-3355-7654
e-mail	TIEF@ takayama-foundation.or.jp
ホームページ	http://takayama-foundation.or.jp

2018 年度奨学生授与式報告



去る7月4日（水）、公益財団法人高山国際教育財団の2018年度奨学生授与式が京王プラザホテルで渡邊理事長はじめ役員の皆様方、学校関係者のご参列のもと開催されました。（詳細は2ページに続く）

かけはし第 42 号目次

表紙 2018 年度奨学生授与式報告 集合写真	1
目次	2
2018 年度 授与式・7 月例会報告	1-12
2018 年度 5 月例会報告	12-22
2018 年度 奨学生紹介	22
高山会だより	22
高山留学生会館 納涼会報告	23
編集後記	24

2018 年度 授与式・7 月例会報告

開催日 2018 年（平成 30 年）7 月 4 日（水）
出席者 渡邊理事長、ブラウン理事、近森理事、
福元理事、福田理事、富岡理事、水島監事、
加藤評議員、宇野評議員、後藤選考委員、
猪原選考委員、秋山選考委員、
2018 年度奨学生 62 名、2017 年度奨学生
30 名、特別奨学生 3 名、高山留学生会館
生 3 名、元奨学生 8 名、元会館生 1 名、ゲ
スト 16 名、事務局 5 名、合計 141 名

〔渡邊理事長ご挨拶〕



皆様、こんにちは。ようこそ、高山国際教育財団の 2018 年奨学生授与式にお越しくございました。私は新しく就任した理事長の渡邊久子と申します。先週理事長に就任しましたので、新規奨学生と同じ新米のほやほやですから、どうぞよろしくお願い致します。一緒に旅をしましょう。

皆様ご存知の様に、この高山国際教育財団と言うのは、初代理事長の高山成雄先生により設立された志の高い、とても温かい、その奨学金によってアジアの若者を応援する会です。私は長い間奨学生の選考委員として、毎年何時間にも渡って応募をなさる方の面接をしておりました。毎回皆様達は、難しい日本語を一生懸命に喋って、それ以上にキラキラと

輝く目でご自分の故郷の事、それからご自分の夢の事、そして皆さんからご覧になった日本の事を語られることに大変感動を覚えました。皆様の様な生き生きとした若者こそ、私達の日本を更に豊かにしてくれると思います。

皆さんのお手元にある『高山成雄お別れの会』と言うのを、後でゆっくり読んで頂きたいと思うんですけれども、更にお勧めの本としては『二つの母国に生まれて』と言う、高山成雄先生の本があります。皆様もこれから少なくとも、二つの祖国に生まれると思うんですね。若者として一生懸命、全身全霊で学んだ場所は、それは第二の故郷になります。日本の敗戦の後、復興した時に私は医学を学びましたけれども、私自身が学んだ先生達はアメリカのフルブライトで学んで来た、素晴らしいお医者さんでした。高山先生は 1916 年にアメリカで生れて、日本で育ち、そして皆様達と同じ位の年代で戦争に加わって、29 歳で終戦を迎えられました。焼け野原となった日本の復興の為に、国際的な視野で大きな志を持って、経済の復興に全面的に関与なさいました。そしてその中で、情熱的に生きて来られたと思うんですけれども、単に経済人として素晴らしかっただけではなくて、ご自分のご家庭をととても大事になさり、奥様ととても温かい家庭を作られて、お子様を育てるだけではなく、血の繋がらない自分達の家族以外のもっと次の世代、広い次の世代を応援することが大事だとおっしゃって、なんと 85 歳で高山国際教育財団を作られたんです。皆様 85 歳まで何とか生きてください。高山先生がこの写真の中で「みんな